

# コーパスを利用した「抱く」と「抱える」の異同について — 名詞の共起状況を手掛かりに —

中 溝 朋 子  
坂 井 美 恵 子  
金 森 由 美

## 要旨

本稿では、コーパスを用いて類義語「抱く」、および「抱える」と共起する名詞を調査し、特に「気持ち（感情、および広く知的活動や思考などを含む）」を表わす名詞と共起する場合の両動詞の異同について検討する。検討方法は、①共起名詞を基にした両動詞の中心義（瀬戸 2005, 2007）の特定、②国研（2004）『分類語彙表』による共起名詞の意味の分類、③用例中で使用されている両動詞の活用形の種類の調査などである。さらにその結果を用いて日本語教育への応用を考える。

## キーワード

コーパス, 共起, 抽象名詞, 中心義, 分類語彙表

## 1 はじめに

本稿では、「抱く<sup>1)</sup>」と「抱える」について、主に「気持ち」を表わす名詞と共起する場合を中心に、コーパスを用いてその異同を明らかにし、日本語教育への応用を考えることを目的とする。本稿の「気持ち」とは感情ばかりでなく、知的活動や思考、感覚なども広く含めることとする。

「抱く」と「抱える」は以下のような場合に類義語となる。

- (a) 子供を 抱く / 抱える (子供: 具体)
- (b) 不安を 抱く / 抱える (不安: 抽象)

(a)(b)のように、「抱く」「抱える」は「子供」のような具体名詞とも「不安」のような「気持ち」を表わす抽象名詞とも共起することが可能で、日本語学習者にとってしばしばその使い分けが難しい。本稿ではコーパ

スを用いて両動詞はどのような名詞と共起しているか、また統語的な特徴は何かなどを検討し、両動詞の異同を明らかにする。

## 2 「抱く」「抱える」の辞書の意味

「抱く」「抱える」の意味について、7種の辞書の記述を調査し、そのうち5種以上で確認できた意味について筆者らがまとめたものを表1に示す<sup>2)</sup>。

表1 「抱く」「抱える」の辞書的意味

	抱く	抱える
1	腕を回してかかえこむ。	腕で囲むように持つ。
2	男女が同衾する。	人を雇う。雇って使う。
3	ある考えや感情をもつ。	自分の負担になるもの、厄介なものを持つ、引き受ける。

まず両動詞の辞書による異同を簡単にまと

めると、具体名詞と共起する場合で両動詞に共通する意味は、腕を使って人や物を持つことが挙げられる。また本稿で主に扱う「(気持ち)を持つ」という意味は「抱く」では表1の3のように一つの意味として記述されているが、「抱える」では調査したすべての辞書の中で一つの意味として記述されているものではなく、「気持ち」を表わす名詞は3の「負担になるもの、厄介なもの、処理・解決しなければならないもの」といった内容の意味に分類されている。しかし実際には、「希望と期待を抱えて新生活を迎える」「夢を抱えて上京する」などのように、「(不安/不満)を抱える」と同様の意味でプラス評価の気持ちを表わす語と共起することも可能であり、このような場合は、いずれの意味にも分類不可能である。

以上のことから本稿では、まず「抱く」「抱える」の両動詞がどのような「気持ち」を表わす名詞と共起するかコーパスにおける実際の使用状況を調査し、検討することとする。

### 3 本稿の調査方法、および分析方法

#### 3.1 調査対象、および調査方法

本稿で調査の対象とするコーパス、およびその調査・分析方法について述べる。本稿では、数量的検討のデータは、国研(2011)「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(以下BCCWJ)を対象に検索アプリケーション「中納言」を用いて検索・収集する。具体的な検索方法は、キーを「語彙素」とし「抱く」「抱える」を、前方1語を「語彙素」とし「を」を、前方2語を「品詞」とし「品詞-中分類-普通名詞」を入力し、検索した。また具体的な用例を検討する際にはBCCWJに加え、補助的に「筑波ウェブコーパス」(以下TWC)も使用した<sup>3)</sup>。

#### 3.2 分析方法

BCCWJで検索した名詞については、名詞ごとに両動詞との共起頻度、およびダイス係数<sup>4)</sup>を計算し、ダイス係数上位40語を抽出して、日本語教師3名で具体名詞、抽象名詞に分類した。そのうちの具体名詞と共起する場合を取り出し、まず両動詞の中心義を検討した。

瀬戸(2005:101)は、多義語の意義<sup>5)</sup>について「(多義語は)中心があってまとまっている」と考え、その中心となるものを「中心義」と呼んでいる。中心義とは「(i)文字通りの意義であり、(ii)関連する他の意義を理解する上での前提となり、(iii)具体性(身体性)が高く、(iv)認知されやすく、(v)想起されやすい。また、(vi)用法上の制約を受けにくい。それゆえ、(vii)意義展開の起点(接点)となることがもっとも多い意義である。また、中心義は、おそらく、(viii)言語習得の早い段階で獲得される意義であり、(ix)使用頻度が高いことが多い。ただし、必ずしももっとも頻度が高い意義と一致するわけではない。現実には、派生的、比喩的な意義のほう頻度が高いこともある。しかし、派生的、比喩的な意義は、あくまでも中心義との関連の中で理解されるべきである」(瀬戸2007:4)と述べている。

本稿でも同様に、「抱く」「抱える」の中心義を考え、両動詞が「気持ち」を表わす名詞と共起する場合は、それぞれの中心義と「気持ち」を表わす名詞と共起する両動詞の抽象的な意味が共通点や連続性を持つと考え、その共通点や連続性は何かを検討し、両動詞の特徴や異同を明らかにしたいと考える<sup>6)</sup>。

さらに、両動詞と共起した「気持ち」を表わす名詞について『分類語彙表』を用いた意味の異同や、活用形や共起する助詞の異同に見られる統語的特徴の違いについても明らかにしたい。

## 4 調査結果

### 4.1 具体名詞と共起した場合、および両動詞の中心義

以下、表2に、「抱く」「抱える」と共起した名詞の中からダイス係数上位40位を示し、両動詞と共起する名詞の特徴について検討する。表中、ダイス係数は「D係数」と記し、便宜上、1万倍した数値で示す。

表2 「抱く」「抱える」と共起した名詞（ダイス係数上位40位）

	抱く	共起頻度	D係数	抱える	共起頻度	D係数		抱く	共起頻度	D係数	抱える	共起頻度	D係数
1	疑問	176	293	悩み	106	270	21	敵意	26	73	もの	24	47
2	念	107	232	頭	222	140	22	不信	28	73	故障	15	45
3	関心	138	204	借金	51	130	23	憧れ	28	71	含み損	12	44
4	不満	98	192	膝	57	121	24	恋心	24	70	債権	23	40
5	肩	119	170	負債	42	121	25	希望	54	68	爆弾	13	38
6	感情	103	154	問題	459	119	26	赤ちゃん	35	65	困難	23	38
7	不安	131	153	不安	83	105	27	恐れ	35	65	空腹	11	37
8	興味	110	147	課題	65	93	28	大志	22	65	ギター	12	35
9	疑念	51	144	腹	49	89	29	疑惑	23	60	ローン	13	33
10	思い	123	127	赤字	33	81	30	懸念	24	56	銃	12	31
11	好意	49	121	荷物	32	76	31	愛情	25	56	ジレンマ	8	28
12	疑い	53	119	債務	40	70	32	殺意	19	55	事情	18	28
13	赤ん坊	46	113	箱	36	67	33	印象	37	54	障害	32	28
14	反感	38	107	在庫	23	64	34	感	330	52	思い	22	24
15	恨み	40	105	トラブル	25	59	35	敬意	19	51	不満	10	23
16	好感	36	98	矛盾	22	58	36	夢	46	50	要因	12	22
17	幻想	34	84	人口	38	53	37	確信	22	49	秘密	11	22
18	不審	32	83	ストレス	25	53	38	感想	21	45	病気	14	19
19	期待	77	80	包み	15	49	39	望み	18	45	袋	11	18
20	危惧	28	75	花束	14	48	40	考え	35	43	職員	12	17

まず「抱く」の具体名詞では、「赤ん坊、赤ちゃん」などの人や「肩」などの体の一部などがあり、共起した名詞は、ほぼ人に限られていたのに対し<sup>7)</sup>、「抱える」では「子（47位）、子供（48位）」などの人や「頭、膝、腹」などの体の一部に加えて、「荷物、包み、銃、袋」などの物も共起していた。また体の一部と共起する場合、「頭を抱える」は「悩む、考え込む」、「腹を抱える」は

「腹を抱えて笑う」のように、実際の動作の描写とともに比喩的にも使用される表現があるのに対し、「抱く」と体の一部が共起した例は「肩」のみで、比喩的な用法ではなく実際の動作を表わす実質動詞と考えられるなどの違いが見られた。

同様に「抱える」には具体名詞の中にも、「小さい子供を抱えて働く」のような表1の3「負担を引き受ける」の意味や、「多くの

職員を抱える団体」のような2「雇う」の意味を持つ場合もあり、「抱える」は「抱く」に比べると、具体名詞との共起であっても、実質的な動作を表わさない用法が多く見られることがわかった。

さらに具体的な用例を概観すると、「抱える」と共起する人や物を表わす上位5名詞の修飾語を見ると、「大きな-/大-(荷物)」（各5例）、「多くの/(世界)最大の)人口」（各4例）、「または具体的な数字を用いて(16例)大きい、もしくは多いことを表わす語が多く見られた。また「抱く」と共起する人を表わす上位5名詞の用例には、形容詞などの修飾語はほぼ見られず、「母親が赤ちゃんを抱く」といった動作主や「抱く」対象となる人を特定する語が共起している場合が多く見られた。

次に両動詞がどこに対象を「抱く」「抱える」か、およびその持ち方について辞書の記述を見ると、「抱く」は通常「胸に」包み込むように持ち「抱える」は「物を囲むように胸、脇、膝」に持つ場合と記述している辞書もあるが(『大辞林』)、具体的な用例を概観すると、両者とも通常は(両)腕を使って何かを囲み前方(胸の前)に持つと考えられる例が多く、両動詞に共通して「膝(の上)に、(小)脇に」などの例も見られた。

以上のことから、共起名詞ダイス係数40位の具体名詞に見られるそれぞれの動詞の特徴を、次の表3のようにまとめることができる。

まず、持つ場所・方法としては、腕を使って動作主が、通常は腕を使って囲むように胸の前に持つ、もしくは固定させることという点は共通し、少数ながら「膝、(小)脇」などが両動詞と共起可能である。一方、持つ対象としては、「抱く」の場合はほぼ人のみに限られるが、「抱える」の場合は対象が動作主に負担を与えるような「大きいもの、多くのもの」などの特徴を持つと考えられる。

表3 具体名詞と共起する「抱く」「抱える」の特徴

	抱く	抱える
持つ場所 方法	動作主が、通常は腕を使って囲むように胸の前に持つ、もしくは固定させること。少数ながら「膝」「(小)脇」なども可能。	
持つ対象	人	人・物
共起語の 特徴	動作主や「抱く」対象である人を特定する語に言及されることが多い	持つ対象は、大きい、数が多い

以上を踏まえて、両動詞の中心義について検討する。まず表1の中で両動詞が具体名詞と共起する場合は、1と2と考えられる。そのうち表2で示した結果から、表1の1の意味が圧倒的に名詞の共起頻度も多く、その他の瀬戸(2007)の中心義の特徴も備えていると考えられる。したがって本稿では、両動詞の中心義の意味を1と考え、以下のように定義する。

#### 《「抱く」の中心義》

「(両)腕を使って囲むように胸の前に人を持つ、もしくは固定させる」

#### 《「抱える」の中心義》

「(両)腕を使って囲むように胸の前に大きい(多くの)人や物を持つ、もしくは固定する」

## 4.2 「気持ち」を表わす名詞と共起した場合

### 4.2.1 意味的な分析

両動詞と共起する「気持ち」を表わす名詞について、まず国研(2004)の『分類語彙表』で意味別に分類し、その後必要に応じて具体的な用例を検討する。以下表4に、国研(2004)の中から、両動詞それぞれと共起した本稿で主な検討の対象とする「気持ち」に該当すると考えられる部門〈活動〉、中分類〈心〉に挙げられているものを抜き出し、小分類ごとにまとめたものを示す。表中( )内

表4 『分類語彙表』による「抱く」「抱える」両動詞と共起した抽象名詞分類

小分類	抱く	抱える
思考 / 意見 / 疑い	考え, 確信, 思い, 感想, 疑問, 疑い, 疑念, 不審, 懸念, 危惧, 不信, 疑惑, (意見, 自信)	思い, (疑問, 心配)
好悪・愛憎	好意, 好感, 愛情, 恋心, 憧れ, 恨み, 反感, 敵意, (憎しみ, 憎悪, 嫌悪, 愛着, 愛, 同情)	
感情・気分	感情, (コンプレックス, 心, 気分, 情熱)	(コンプレックス, 心, 感情)
意志	大志, 殺意(志, 野心, 悪意, 邪心, 闘志)	
欲望・期待・失望	希望, 夢, 期待, (望み, 野望, 志, 願望, 野心, 欲望, 失望, 執着, 意欲, 煩惱, 欲求)	(衝動, 欲望, 願望, 野望, 夢, 欲求, 期待)
敬意・感謝・信頼	敬意, 不信, 疑惑,	
安心・焦燥・満足	不安, 不満, 懸念, 危惧, (不服)	不安, 不満, (心配, 不平, 懸念)
注意・認知・了解	関心, 興味, (意識)	(意識)
恐れ・怒り・悔しさ	恐れ, (恐怖, 怒り, 憤り)	(恐怖, 怒り, 鬱憤, 恐れ)
判断・推測・評価	幻想, 期待, (妄想)	(期待)
信念・努力・忍耐	念, (信念)	
感覚	印象, 感, (気持ち, 感じ, 予感, 感覚)	(気持ち, 痛み, 感, 衝動)
苦悩・悲哀	(悩み, 苦悩, 悲しみ)	悩み, (苦悩, 悲しみ, 苦しみ, 悲嘆)
意味・問題・趣旨	(イメージ)	問題, 課題, (イメージ)
感動・興奮	(共感, 感慨, 感動)	(感慨)
説・論・主義	(理想, 意見)	
決心・解決	(決意, 覚悟, 迷い)	(動揺, 迷い)
心	(心, 闘志)	ストレス, (心, 意識)
飢渴・酔い・疲労・睡眠		空腹
(「心」以外) 争い / 相対 / 障害・けが	(反発)	トラブル, 矛盾, ジレンマ, (葛藤, トラウマ)

の語は、ダイス係数41位以下の語で、太字は両方の動詞でダイス係数上位40位以内だった語である。

これらを概観すると、「抱く」が多くの小分類の語と共起しているのに対し、「抱える」と共起する小分類は限定的で、ダイス係数上位40語の中ではマイナス評価の語のみが共起していた。〈思考・意見・疑い〉にある「思い」も、実際の用例では、「悔しい-/つらい-/切ない-」などマイナス評価の修飾語が共起していた。一方で、数は少ないが、「抱える」でも「夢, 願望, 期待」などプラス評価の語も共起していることがわかる。

以下、少数ではあるが、このような「抱え

る」がプラス評価の語と共起する例を [1] に示す。なお、用例最後の ( ) 内に各コーパスにおける用例のID番号を示す。アルファベットで始まる例はBCCWJ, 数字だけの例はTWCの例である。用例中, 下線, および太字は筆者による。

[1] (a) 高校を卒業後、夢を抱えたまま美容学校に通い、メイクの学校にも通ったニューヨーク大学語学科に通っていた当時、仲よしだったミドリさんと。

(PM21\_00722)

(b) 両手からこぼれそうな夢を抱え、自分の足で歩き、世界に挑むあなたの姿に、日

本中が、勇気とか元気とか、見えない力  
ももらっていました。

( 021-040. 008. 36858 )

(c) とてつもなく曖昧で**壮大な夢を抱えて**  
FLOWERINHEART という団体を作った。

( 101-120. 001. 13247 )

(d) 小さな夢から大きな夢まで様々あるだろ  
うけど、肝心なのは夢を抱えて生きてい  
るかって事だと思う。

( 021-040. 005. 31407 )

(e) 私は自分のルーツを探りたいというロマン  
チックな切望と**大きな期待を抱えて**日本  
にきていた。(PB23\_00853)

(f) 試写会でずいぶん前に鑑賞したのです  
が、上映前に説明してくれた方が、「こ  
の映画を観た後は、あまりの衝撃で席か  
ら立てなかった…」とおっしゃって、  
映画で何度かそんな思いを味わったこと  
がある私は、かなりの期待を抱えて鑑賞  
しました・・・。

( 021-040. 010. 30590 )

(g) 今、新しい環境を迎えることに希望と期  
待を抱えていると同時に不安も多少ある  
のでは？ ( 001-020. 009. 08424 )

まず「夢を抱える」は BCCWJ では 1 例、  
TWC では 18 例あった。これら TWC の 18 例中、  
7 例は「大きな夢」「壮大な夢」など夢が大  
きいことを表わす修飾語が共起していた。

「期待を抱える」の例は BCCWJ は 1 例、  
TWC では 7 例見られたが、この 7 例中 5 例  
は、「不安と期待を抱える」という 2 語が用  
いられていた。また「かなりの、たくさん  
の」といった、期待や不安の量について述  
べていた例は、7 例中 2 例であった。

こうしたことから、プラス評価の語が「抱  
える」と共起する場合については、他の修飾  
語に比べると「大きさ」に言及する修飾語が  
多いことや、マイナス評価の語と並列して用  
いられる場合があることなどが観察できた。

次に「抱く」「抱える」のどちらか一方の  
みで共起していた名詞を小分類ごとに表 5 に  
改めて示す。( ) 内はダイス係数 41 位以下  
の語であることを示す。

表 5 「抱く」「抱える」一方で共起した小分  
類と名詞

小分類	抱く	抱える
好悪・愛憎	好感, 好意, 愛情, 恋心, 憧れ, 恨み, 反感, 敵意, ( 憎しみ, 憎悪, 嫌悪, 愛着, 愛, 同情 )	
意志	大志, 殺意 ( 志, 野心, 悪意, 邪心, 闘志 )	
敬意・感謝・信頼	敬意, 不信, 疑惑,	
信念・努力・忍耐	念, ( 信念 )	
注意・認知・了解	関心, 興味, ( 意識 )	( 意識 )
説・論・主義	( 理想, 意見 )	
意味・問題・趣旨	( イメージ )	問題, 課題, ( イメージ )
心	( 心, 闘志 )	ストレス, ( 心, 意識 )
飢渴・酔い・疲労・睡眠		空腹
( 「心」以外 ) 争い / 相対 / 障害・けが	( 反発 )	トラブル, 矛盾, ジレンマ, ( 葛藤, トラウマ )

\* 1 語のみ下位で共起していたものを含む

「抱く」のみに共起していた小分類はく好  
悪・愛憎 ( 例: 好意, 恋心, 恨み, 反感 ) >  
や, < 敬意・感謝・信頼 ( 例: 敬意, 疑惑 )  
> などの分類で, こうした他者に向けられる  
好悪や感情などは, 「抱える」とは共起して  
いなかった。またく注意・認知・了解 ( 例:  
関心, 興味 ) > やく説・論・主義 ( 例: 理  
想, 意見 ) > など, 知的な活動を表わす名詞  
も「抱える」とは共起しにくいと考えられ  
る。

一方で「抱える」では, < 意味・問題・趣  
旨 > の「問題, 課題」, < 心 > の「ストレ  
ス」など, 解決すべき課題を表わす語や



「空腹、ストレス」といった肉体や精神に関わる語が共起しており、これらは「抱く」には見られなかった。また「ストレス」や「問題」と近い意味を表わす語で、中分類のく心以外に分類されていた「トラブル、矛盾、ジレンマ、トラウマ、葛藤」などの語も「抱く」では共起していなかった。

以上のような「気持ち」を表わす両動詞と共起する名詞の特徴を基に、以下、これらの中心義との関係について検討する。

#### 4.2.2 中心義と「気持ち」を表わす名詞と共起する両動詞の意味の関係

4.1で述べた通り、「抱く」「抱える」の中心義は、ともに「腕で囲んで（主に）胸に何かを持つ」であると考えられる。このように胸に持つ何かは具体的なものから抽象的な何かに拡張されることにより、両動詞は「気持ち」を持つ名詞との共起も可能となったものと考えられる。そのため、本稿では「抱く」ばかりでなく「抱える」についても「気持ち」を表わす語との共起を一つの意味として設定することができる。と考える。

また両動詞と「気持ち」を表わす名詞の共起の仕方の違いの一つは、他者に向けられる〈好悪・憎悪〉やく敬意・感謝・信頼などの名詞が「抱く」のみに共起していたことである。これは「抱く」の中心義では、抱く対象が人であることから、対象に向けての感情や考えが生じやすいこと、またその内容も数も豊富であることなどが考えられる。

一方「抱える」は、気持ち全般と共起は可能であるが、中心義では「大きい、多くの」もの、すなわち動作主への負担があることから、マイナス評価の語が圧倒的に多いと考えられ、プラス評価の語でも「大きい」ことを意味する修飾語が使用される場合が多いと考えられる。

以上を図に表わすと、図1のような関係になると考えられる。

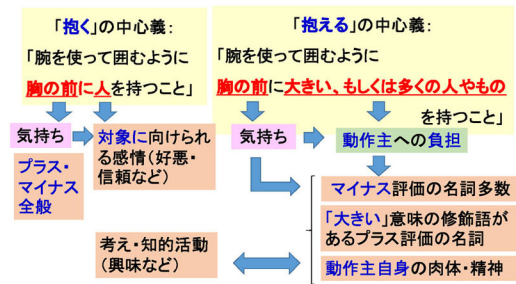


図1 「抱く」「抱える」の中心義と「気持ち」を表わす名詞の関係

#### 4.3 統語的な特徴

##### 4.3.1 活用形の特徴

次に統語的な特徴を検討する。まず、両動詞が「気持ち」を表わす名詞と共起した際の活用形を調査した結果を表7に示し、その後具体的な用例を分析しながら、両動詞の互換性についても言及する。

表7からは、特に「抱える」で辞書形やタ形の言い切りの形、使役形や受身形の使用が非常に少ないことがわかる。また最も多い

「テ形（文中）」の1,817例のうち、1,044例(31.5%)は「抱えている / 抱えており」などテイル形であり、他のテ形もほぼすべて「～を抱えて(=抱えた状態で) Vスル」のような状態性の用法であった。一方、「抱く」は言い切りの形や「使役形・使役受身形」「受身形・尊敬形」は「抱える」よりも多く、この傾向は、具体名詞と共起する場合でも見られた。このようなことから「抱く」との違いとして、「抱える」が気持ちを表わす名詞と共起する場合には特に付帯状況的な状態性の意味で使用されることが多く、「使役形・使役受身形」「受身形・尊敬形」、また言い切りの形での使用は少ないと言える。

次に、これらの統語的特徴が用例の中でどのように表れているか、また両動詞の互換性について両動詞と共起が可能な名詞を例に挙

表7 「気持ち」を表わす名詞と共起した「抱く」「抱える」のコーパス中の活用形とその数

活用形	例	抱く	抱える
辞書形。－ます。	抱く。 / 抱えます。	98 ( 2.5%)	22 ( 0.7%)
辞書形 (文中)	抱く + 名詞 / 抱く + 助動詞 他	837 (21.2%)	489 (14.8%)
タ形。－ました。	抱いた。 / 抱えました。	165 ( 4.2%)	69 (2.1%)
タ形 (文中)	抱いた－名詞 / 抱えたり 他	501 (12.7%)	437 (13.2%)
テ形 (文中)	抱いて / 抱えて 他	1371 (34.7%)	1817 (54.8%)
連用中止形	抱き, / 抱え, ~ 他	98 ( 2.5%)	240 (7.2%)
使役形・使役受身形	抱かせ, / 抱えさせられ 他	239 ( 6.0%)	4 ( 0.1%)
受身形・尊敬形	抱かれ, / 抱えられ	60 ( 1.5%)	10 ( 0.3%)
その他	抱きつつ, / 夢を抱いて。	586 (14.8%)	225 (6.8%)

げて [2] で検討する。なお、例文中の書式の意味は [1] のときと同様である。

- [2] (a) あずみの美しさに接し、左近は、彼女に愛憎半ばする複雑な思いを○抱く (×抱える)。(PB57\_00112)
- (b) わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」これを聞いて、ヘロデ王は不安を○抱いた (×抱えた)。(101-120.005.41116)
- (c) 競争率を見て不安を○抱いて (×抱えて) いる受験生も多いのではないのでしょうか。(041-060.002.45133)
- (d) 例えば、子どもが援助者との面接を楽しみにするようになると、保護者が子どもを援助者にとられてしまうような不安を○抱いて (×抱えて) 虐待が悪化してしまうこともあるし、自己表現が進むにつれて同居している保護者に対する罪悪感を抱いてしまうこともある。(001-020.011.439383)
- (e) 現在のお二方のやり方は、ただでさえ不安な人たちに、より不安を○抱かせて (×抱えさせて) います。(061-080.002.26614)
- (f) 人の輪にはじめて入って行く園児たちに不安を○抱かせない (×抱えさせない) ように、楽しいイベントや教育を考えています。(081-100.005.17875)

活用形の調査により、「抱える」は言い切りが少なく、付帯的狀況を表す使用が多いことは先述した。この言い切りとは、具体的には [2] (a) (b) のように「抱く」「抱える」が文末に来る場合を指し、このような場合は「抱える」との互換性は低いと考えられる。

また、(c) (d) のように「抱く」が、前件の出来事、例えば (c) 「競争率を見る」、(d) 「子供が援助者との面接を楽しみにするようになる」という出来事が原因・契機となり、後件のような気持ちが生ずるという変化を表わす場合についても、「抱える」との互換性は低いと言える。

また、割合的に「抱える」は使役形や使役受身形、受身形や尊敬形の使用率が低いという特徴が見られたが、(e) (f) のように受身や使役が使用されている「抱く」も、「抱える」との互換性は低いと考えられる。

#### 4.3.2 助詞の特徴

また助詞の使われ方についても、違いが見られた。以下、[3] に用例を示す。

- [3] (a) 投資家は、現在の超低金利時代における銀行預金の金利に大変不満を○抱いて (×抱えて) いる。(PB43\_00029)
- (b) 国民の多くが、食料供給に不安を○抱いて (×抱えて) います。(021-040.010.30579)



例えば [3] の例のように、「抱く」では「不満、不安」を感じている対象、この場合は「金利」や「食料供給」を「に」で示すのが普通で、このままでは「抱える」との互換性はない。しかしこの「に」を「への」として「不満」や「不安」に対する修飾語の形に変えると、互換性が高まると考えられる。

このことから、「抱く」は「気持ちに向けられる対象」との結びつきがより強く、「抱える」は「抱えている対象」との結びつきが強いと考えられる。この「抱く」が気持ちに向けられる対象との結びつきが強いことは、「抱える」と異なり動作主から他者への好悪や感情を表わす名詞が共起することと、また「抱える」が抱えている対象との結びつきが強いことは、「抱く」と異なり「抱えている対象」が動作主に負担を与えるという関係にあることと関わっていると考えられる。

## 5 日本語教育への応用

以上を踏まえて、日本語教育への応用について考える。本稿では学習者の類義語の異同をより分かりやすくするために、まず中心義を理解させた上で、抽象名詞と共起する場合の特徴を考えるという、具体から抽象へという順で導入したいと考える。

本稿では、まず導入の最初には、4.1 で述べた「抱く」と「抱える」の中心義における差異が明確に現われる以下のような例を挙げることが望ましいと考える。

- (a) お母さんが赤ちゃんを抱いている。  
お母さんが買い物袋を抱えている。
- (b) 子供がぬいぐるみを抱いている。  
子供がぬいぐるみを抱えている。

導入の始めとしてはまず (a) のような例を挙げ、中心義として「抱く」は人、「抱える」は物を持つこと、また持つ場所や方法は

「(両)腕を使って囲むように胸の前」であり同じであるが、「抱える」は「大きい、多くの」などの意味を伴うことに気づかせる。さらに (b) のような例を挙げ、「抱く」が同じ物を持つ場合にも、「人を抱く(ようにぬいぐるみを持つ)」、「大きい物を抱える(大きいぬいぐるみを持つ)」という中心義の意味が共通していることを確認する。その後で、このような意味から「抱える」には「多くの従業員を抱える会社」といった「雇用」の意味や、「小さい子供を抱えて働く」など、具体名詞との共起ではあっても「胸の前で持つ」という実質的な動作ではなく、長期間の付帯的な状況を表わす表現としても用いられること、こうした用法は「抱く」にはないことを付け加える。

こうした具体名詞が共起した場合の両動詞の違いを把握した後に、「気持ち」を表わす語の使い分けについて考える。まず学習者に「抱く」「抱える」と共起可能な広義の「気持ち」や精神活動を表わす語を考えてもらおう。以下、『分類語彙表』の小分類の名称を用いて考える。

基本的には両動詞は「気持ち」を表わす名詞と共起するが、「抱く」はプラス評価の語もマイナス評価の語も共起可能なのに対し、「抱える」は「動作主への負担」から主にマイナス評価の語が、さらにプラス評価の語の場合には「大きい」意味の修飾語が使用されることが多いという大まかな特徴を確認し、学習者にそれぞれの動詞と共起すると考える「気持ち」を表わす語を挙げてもらう。

学習者が「気持ち」と言われて思い浮かぶもののひとつには、「うれしさ、悲しさ」といった初級で習うイ形容詞からの派生名詞「-さ」があると思われるが、これらの多くは今回の調査では「抱く」「抱える」とは共起が見られなかった<sup>8)</sup>。一方「感情」を表わす共起可能な名詞では、コーパスによると例えば「喜怒哀楽といった感情」のような表現

や「喜び、悲しみ」などで両動詞とも共起が見られ、こうした点も学習者に注意を促す必要があると思われる。

その他、本稿では「気持ち」として、〈好悪〉や〈意志〉、〈希望・安心・恐れ〉、〈思考・知的活動〉や〈肉体・精神〉なども含めているが、これらの名詞は語によって、多少の違いがあるが、プラス・マイナスの評価に関わらず他者に向けられる気持ちについては「抱く」のみが、動作主自身の肉体や精神に関係するものは「抱える」のみが主に使用されるという違いを示しながら、学習者と意味を確認していきたいと考える。

さらに両動詞と共起可能なく感情〉や〈希望・安心・恐れ〉などの小分類に属する語の使い分けについて述べる。

「抱く」や「抱える」を、①変化を表わす文脈で使用したいか、付帯状況を表わす文脈で使用したいか、②「大きい」ことを表わす修飾語を使用したいか、また③「に・への」の助詞は適切に使用されているかなどの点を学習者に考慮させることで、使い分けのヒントとなると考える。特に①変化か付帯状況的かという違いは、これら三つの中でも互換性の大きな要素となっていると考えられ、気持ちを表わす語の使い分けにはぜひ確認しておく必要がある要素と言える。

以上を踏まえて、両動詞と共起する名詞の関係を整理すると、図2のようになる。

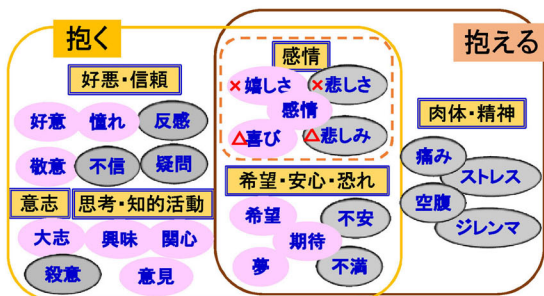


図2 「気持ち」を表わす名詞について

## 6 おわりに

以上、「抱く」と「抱える」について、「気持ち」を表わす名詞と共起する場合を中心にその異同を調査・分析し、日本語教育への応用について検討してきた。

今後の課題については、まず互換性を中心に、両動詞についてさらに検討が必要と考えられる。また従来、類義語辞典や類義語研究などで取り上げられる場合は、具体名詞と共起する場合が中心になることが多く、こうした抽象名詞と共起する、抽象的な意味を持つ動詞の類義語の異同については、まだ数が少ないと言える。今後も抽象名詞などと共起する動詞の類義語の異同について、引き続き検討していきたいと考える。

(山口大学留学生センター 准教授)

(大分大学国際教育研究センター 准教授)

(大分大学国際教育研究センター 講師)

### 【謝辞】

本研究はJSPS科研費（基盤研究 (C)25370591 基盤研究 (C)26370609）の助成を受けたものです。また本稿は、2014年度日本語教育学会第9回中国地区研究集会（2014年12月20日於岡山大学）で口頭発表した内容を基に作成したものです。貴重なコメントをいただきました皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

### 【参考文献】

- (1) 石川慎一郎 (2008) 『英語コーパスと言語教育』大修館書店
- (2) 国立国語研究所 (2004) 『分類語彙表増補改訂版』大日本図書
- (3) ————— (2011) 『日本語書き言葉均衡コーパス』検索アプリケーション「中納言」 <<https://chunagon.ninjal.ac.jp/login>>(2014年11月9日)

- (4) 瀬戸賢一(2005)『よくわかる比喩-ことばの根っこをもっと知ろう』研究社
- (5) ———(2007)『英語多義ネットワーク辞典』小学館
- (6) 筑波ウェブコーパス <<http://corpus.tsukuba.ac.jp/>>(2014年11月9日)
- (7) 中溝朋子・金森由美・坂井美恵子(2014)「コーパスに見られる類義語『抱く』と『抱える』の異同について」『2014年度日本語教育学会研究集会第9回中国地区(岡山)予稿集』 pp. 55-60

#### 【参考資料】

- (1) 松村明他編『デジタル大辞泉』小学館 <<http://dictionary.goo.ne.jp/jn/>>(2014年11月8日)
- (2) 松村明他編『大辞林第三版』三省堂 <<http://www.excite.co.jp/dictionary/japanese/>>(2014年11月8日)
- (3) 山田忠雄他編(2012)『新明解国語辞典第七版』三省堂
- (4) 北原保雄他編(2002)『明鏡国語辞典』大修館書店
- (5) 西尾実他編(2011)『岩波国語辞典第七版』岩波書店
- (6) 林巨樹他編(2006)『現代国語例解辞典第四版』小学館
- (7) 松村明他編(2009)『旺文社国語辞典第十版』旺文社

#### 【注】

- 1) 本稿では、「抱く(だく・いだく)」について、「だく」は「いだく」から生まれた語であること、本稿で使用するコーパスでは「だく」と「いだく」を区別して集計することは困難であることから両者を区別せず、コーパスの検索も「抱く」の漢字表記で行う。
- 2) 4種以下の辞書で確認できた意味には、

「抱く(4種)」で「抱えるようにして包み込む(例:大自然に抱かれる)」, 「抱える(3種)で「範囲内に持つ(例:湾を抱えた地形)」など地理的・地勢的な意味があった。また「抱える(4種)」で「(責任を持って)処理しなければならない(例:紛争の火種, 急ぎの仕事)」も挙げられている。

- 3) このように2つのコーパスを使用した理由は、共起する名詞の修飾語、動詞の活用形の調査などには、コーパス全文が公開されているBCCWJのほうが適していたが、用例の分析には、総語数が約1億語のBCCWJでは不足することがあり、総語数約11億語のTWCで補う必要があったためである。
- 4) 石川(2008)は(共起強度を考える際に)共起頻度だけでは中心語と共起語自体の頻度によって値が大きく左右されると述べ、また共起強度を示す指標には高頻度のコロケーションの評価に強い頻度型指標(Tスコア, 対数尤度比など)や低頻度でも特徴的なコロケーションを検出する非頻度型指標(相互情報量など)があるが、ダイス係数はその中間型であるとしている。このような理由から、本稿ではダイス係数を主とする指標として採用している。
- 5) 瀬戸(2005, 2007)では「多義語の複数の意義」のようにいわゆる辞書の項目の記述などで一般的に意味と呼ばれるものを「意義」と呼んでいる。本稿ではこれらを「意味」と呼ぶ。
- 6) 瀬戸(2007)は中心義を意義の起点、意義の分割の基準をメタファー、メトニミー、シネクドキとし、これらが複数の意義間のネットワークを展開していると考えられる。本稿ではこうした意味間の関係については検討せず、中心義と「気持ち」を表わす名詞と共起する場合の両動詞の

意味との共通点や連続している点のみを  
検討の対象とする。

- 7) 41位以下の人以外の具体名詞では、動物  
（「猫，子犬」）や「人形，ぬいぐる  
み」などが共起していたが，すべて単なる  
物というより，人に準じて扱われてい

るものと考えられる。

- 8) イ形容詞の派生名詞「-さ」では，「懐  
かしさを抱く」などの共起は可能であ  
り，すべての「-さ」が共起不可能なわ  
けではない。